YMCAこども園実施要項

2012年度募集要項

対象	2歳児・3歳児		
曜日	月　水　金	時間	10:00～12:00
定員	10名		
費用	月謝　16,000円	入園料　5,250円	施設料　6,000円（年）

1日の流れ

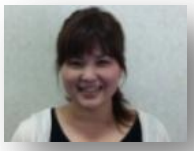
9:45	登園開始
10:00	あそびのおじかん
10:30	ごあいさつ、うたのおじかん
10:40	専門プログラム 月:体操　水:英語　金:音楽/製作
11:20	帰りの準備、トイレトレーニング、よみきかせ
11:35	帰りのごあいさつ

主なプログラム

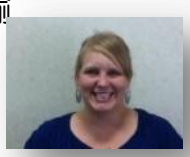
体操	リズム体操、器械体操、サーキット遊び
英語	あいさつ、よみきかせ、ゲームなど
音楽/製作	うた、リズム遊び、おえかきなど
季節行事	運動会、クリスマス会、音楽発表会、遠足など

指導者

リズムリーダー（うえはらめぐみ）
元幼稚園教諭



ウェンディーリーダー（ウェンディ・ピットコック）
英語教諭、元幼稚園教諭



はなびリーダー（ちしきかつのぶ）
体操インストラクター

くろぶたリーダー（しんないひろゆき）
プログラムディレクター

場所　（財）鹿児島YMCA
鹿児島市上荒田町25－19
TEL:099-296-7901 FAX:099-296-7902
メール: hiroyuki@kagoshima-ymca.org

YMCAこども園　2012年度の流れ

ねらい	こども園の生活に慣れ、友だちをいっぱい作ろう				クラス・集団で協力し活動しよう					自分で自分のことが出来るようにしよう					
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
行事	・入園式 ・体力測定 ・園芸 ・イースター	・こいのぼり ・参観日 ・野外活動		・水遊び ・七夕	・親子BBQ ・野外活動		・運動会 ・遠足 ・収穫祭	・クリスマス会 ・マラソン大会		・音楽発表会 ・体力測定 ・豆まき		・お別れ遠足 ・卒園式			

鹿児島YMCAこども園へようこそ

YMCAこども園プログラムのコンセプト

鹿児島YMCAでは、“思いやり”、“尊敬心”、“誠実さ”、“責任感”が人格形成に最も必要な要素と考え、プログラム内容にそのことを学ぶ機会を取り入れています。

2歳、3歳の幼児期は好奇心、探究心が育ち始め、自発性が目覚め始めるといわれる時期です。知育、体育、徳育の基礎となる部分を体験型で取り組み、自然と親しむ機会を設け、様々な経験を提供したいと考えています。また、運動能力の発達や手先の感覚が発達する時期であり、言葉を多く話し始める時期です。子供たちの個性を伸ばし、興味のわくプログラムにし、全身と五感を使って、社会生活への第1歩である適応能力や社会性を身につけ、子どもたちの素晴らしい可能性を大切に育みます。

YMCAこども園の目的

目的は大きく3つに分けられます。
はじめに、子どもたちが親から離れ、初めての集団生活の中で、親とは違う大人とふれあい、同年代の子どもたちと友愛を育み、社会性を身につけ、そして様々なプログラムを通じて、好奇心を刺激し、たくさんの経験をさせる機会を作り、新しいことへの適応能力を開発していくことです。
次に、親への子離れの機会を提供すると共に、同年代の子どもを持つ親にとって交流し、子育てについて悩みを分かち合い考えるコミュニティーを目指します。
最後に、わずか2時間程度のプログラムとはいえ、子どもにとっては自立に向けた大冒険、親にとってはつかの間の子育て開放、といった時間をつくり、子育てに頑張っているパパ・ママを応援することです。

プログラムの一連の流れと狙い

遊びの時間（9:45～10:30）

登園後、約30分遊びの時間を通して、社会性や思いやり、そして自分で遊んだおもちゃを片付ける責任感を養うことを目的とした時間です。　また、登園時間は時としていろいろな事情で変わってしまうもの。　登園が遅くなってもプログラムに参加できるように、この時間で調整する目的もあります。

ご挨拶

お片付けが済んだら、みんなでご挨拶の時間。　お友達とリーダーへ挨拶し、その日の日付と曜日をみんなで確認します。　そして、ひとりひとりお名前を呼び、挨拶とお返事が習慣化することを目的として行います。そして子供たちからもリーダーの名前を呼んでもらうことで、コミュニケーションを図ります。

プログラム

体操は、専門のスタッフがリズム体操や動物まねっこ運動、マットやトランポリン、サーキット、ランニングなど、季節に応じて取り組みます。　運動神経系を伸ばし、運動嫌いにならないよう、子供たちの安全と笑顔を大事に取り組んでいます。

英語は、外国人の講師を招きアルファベットや色、動作、動物、乗り物などの単語をリズムに合わせて覚える練習をします。子供たちの習得度にあわせ、自分の名前や年齢、好きな色などを表現する会話練習や英語の絵本を読み聞かせたりします。

音楽、製作活動は、季節の歌を歌ったり、楽器を自分たちで作って音を楽しむ活動をします。また製作活動は、季節行事に合わせて、必要な道具類を製作したり、小麦粉粘土を使いテーマにそって製作したりします。

そのほか、季節行事として、子供たちだけ、または親子で一緒に楽しめる活動や野外活動、園芸などを行います。また、日本語教育において大切な時期と捉え、きれいな言葉の実践や文字への興味促進を行います。

読み聞かせ、トイレトレーニング、帰りのあいさつ

プログラム終了後は、トイレトレーニングを実践し、帰りの準備をします。読み聞かせを行い、お友達とリーダーへご挨拶をし、お迎えの時間が来たらそれぞれが帰宅します。

プログラムの様子は、Facebook（https://www.facebook.com/KagoshimaY）にてご覧ください。